

私は夏の甲子園のある出来事を思い出しました。準々決勝で負けた島根の大社高校大応援団が、泣きながら勝利チームの鹿児島神村学園の校歌に手拍子を送ったことが話題になりました。そして、次の準決勝で残念ながら神村学園は負けてしまうのですが、応援団がまた、勝った関東第一高校に手拍子を送りました。決勝でも、負けた応援団が、勝ったチームを称え、校歌に手拍子のエールを送ったのです。これは、初めに大社高校がまいた平和の種が人々の心を揺さぶり、次へとつながって、実を結んでいった、みなさんと同じ高校生がまいた平和の種だと思います。

普段の生活でも、平和の種をまくような行動を心がけませんか？

相手の心に寄り添い、あなたと共に生活する仲間のために、真心をもってできることをしてみる。それは、巡り巡って、幸せとなって、自分のところに必ず返ってきます。逆もまた真なりで、あなたが争い、いざこざの種をまくと、具体的には、人の悪口を言ったり、意地悪なことをしたり、人が傷つくようなネガティブな言葉を相手に聞こえてしまうような大きな声で言ったりするような行動は、巡り巡って、自分を傷つけることにつながっていくのですから。